

平成29年度 活動報告 (中間)

加賀市定住促進協議会

平成29年12月5日 (火)

1 移住・定住相談サポートの実施

(1) 移住コンシェルジュの設置



【参考】

	平成29年度 (H29.4～10)	平成28年度 (H28.7～H29.3)
移住相談対応実績	62組(103人)	55組(91人)
移住実績	7組(13人)	5組(11人)
移住確定者	5組(11人) (H29.11～)	-

1 移住・定住相談サポートの実施

(2) 暮らし体験の家の管理

無料で利用できる「暮らし体験の家」

①「加賀 暮らし体験の家」(大聖寺神明町12)

②「加賀 かりぐらしの家」(大聖寺神明町46)



利用実績(平成29年4月～10月末)

2棟合計 延べ40組 (70人)

滞在日数

1泊 13組、2泊～9泊 20組、10泊～19泊 4組、
20泊以上 3組

利用者の居住地

大阪府10組、東京都9組、神奈川県7組、石川県4組、兵庫県3組、
千葉県3組、埼玉県・茨城県・愛知県・福岡県 各1組



2 移住希望者への情報発信強化

(1) 専用ポータルサイト、SNSによる情報発信



①ポータルサイト「加賀でかがやく」
セッション（訪問者）数：1か月平均 703

②Facebook「加賀市定住促進協議会」
リーチ数：一日平均 369

③ブログ「加賀ぐらしのススメ。」
セッション（訪問者数）数：1か月平均 4,602

※①～③は平成29年4月～10月末までの実績

2 移住希望者への情報発信強化

(2) 移住ハンドブックの更新

- ① 2月に更新予定

(3) セミナー・フェア等への出展

- ① おいでや！いなか暮らしフェア（大阪）出展（7月29日（土））
相談者数 24人
- ② ふるさと回帰フェア（東京）出展（9月10日（日））
相談者数 24人
- ③ JOIN移住・交流&地域おこしフェア（東京）出展予定
（平成30年1月21日（日））
- ④ 独自の移住セミナーを開催予定（2月開催予定）



2 移住希望者への情報発信強化



(4) 仕事体験の実施

①体験者数 5人

②体験受入事業所 5社

(ぶどうやさん西村、奥谷梨生産組合、
加賀フルーツランド、片山津観光協会、ぶなの森)

(5) 移住体験ツアーの開催

①開催回数 3回

②参加者数

4月29日(土)～30日(日) 1組1人

8月26日(土)～27日(日) 2組5人

9月30日(土)～10月1日(日) 1組1人

※5・6・7・10・11月は申込なしのため催行せず。



2 移住希望者への情報発信強化

(6) 加賀においてよサポーター

- ① サポーター登録者 7人
- ② 活動回数 6回（3人が活動）（平成29年8月～10月末）

加賀においてよ
サポーター
大募集中！

Kaga-shi, Ishikawa, Japan

どんな人が多いの？
オススメのお店は？
実際暮らしてどう？



温泉が素敵ですよ！
あの家が空いてます！
雪に気を付けて！

3 働き方改革の指導業務

(1) 事業所への実態調査

正規職員化や職場の魅力向上、人材確保のための職場状況など、働き方について、事業所等に聞き取り調査を実施。

○ヒアリング実施事業所 5社

北陸ゆつぽ本舗

(株) Ante

(株) ネイブ

加賀フルーツランド

ばん亭

※平成28年度ヒアリング実施事業所 32社



3 働き方改革の指導業務

(2) 就労環境の改善提案

質の高い人材の確保を促進するため、(1)の調査結果を踏まえた改善策を取りまとめ、事業所等に提案予定。

○調査結果

- ・ 地域の企業への理解が薄い。
- ・ 地域にある仕事を知らない人が多い。
- ・ 企業の就労条件の改善への取り組みが弱い。

○改善提案

- ・ 企業の事業内容についての情報発信を継続していく。
- ・ 理解向上のための体験や見学プログラムを継続的に実施する。
- ・ 就労条件、労働環境改善を業界全体、地域全体で取り組む。

4 空き家・空き物件の情報収集

移住者のための住まい向け物件及び創業向け物件の情報を収集。

(1) 家主への空き家情報提供の呼びかけ

固定資産税通知の送付時に、利用可能な空き家情報の提供を依頼し、約70件の空き家情報の提供あり。空き家バンクへの登録を依頼。

空き家所有者さんへ 家が傷んでしまう前に加賀市からのお願いです

 **空き家を探しています**

加賀市への移住希望者から「住まいを探している」と問い合わせが増えていますが、紹介できる空き家が足りません。 **空き家バンクへのご登録をお願いします!**

登録に費用はかかりません

まずはお気軽にご相談を

お問合せ先 加賀市人口減少対策室 TEL.0761-72-7840 加賀市定住促進協議会 TEL.0761-71-0099

←固定資産税通知に記載

4 空き家・空き物件の情報収集

(2) 地区会館への空き家情報提供の呼びかけ (空き家情報提供シート)

送付までお願いいたします(FAX: 72-7923)	
加賀市定住促進推進課 空き家情報提供カード	
記入日 年 月 日	
※ 長期空き家(特定空き家)は除きます。	
地区名	地区 記入者 連絡先 () -
※ 分かる範囲で記入をお願いします。	
空き家の住所	加賀市
建築年	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄骨 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造
※ 空き家の状態を記入してください。	
空き家の概要	
氏名	山田 太郎 連絡先 () -
住所	
備考	(例: 築50年、要修繕)
お問い合わせ先 加賀市定住促進推進課 TEL: 72-7923 FAX: 72-7923 E-mail: shiryo@city.kaga.lg.jp	

地区会館に対して利用可能な
空き家情報の提供を依頼。
個別に要望があった地区には
改めて区長会で説明。





5 ローカルベンチャー育成プロジェクト（20～40代）

起業家（ローカルベンチャー）育成の基盤である「Next Commons Lab 加賀」（以下、「NCLK」）が始動し、地域資源を活用した10のプロジェクトを決定。

山中温泉東町に拠点を構え、各プロジェクトの事業化を目指すラボメンバーを委嘱し、活動を開始。

○コーディネーター(3人):NCLKのプロジェクト全体をマネジメント

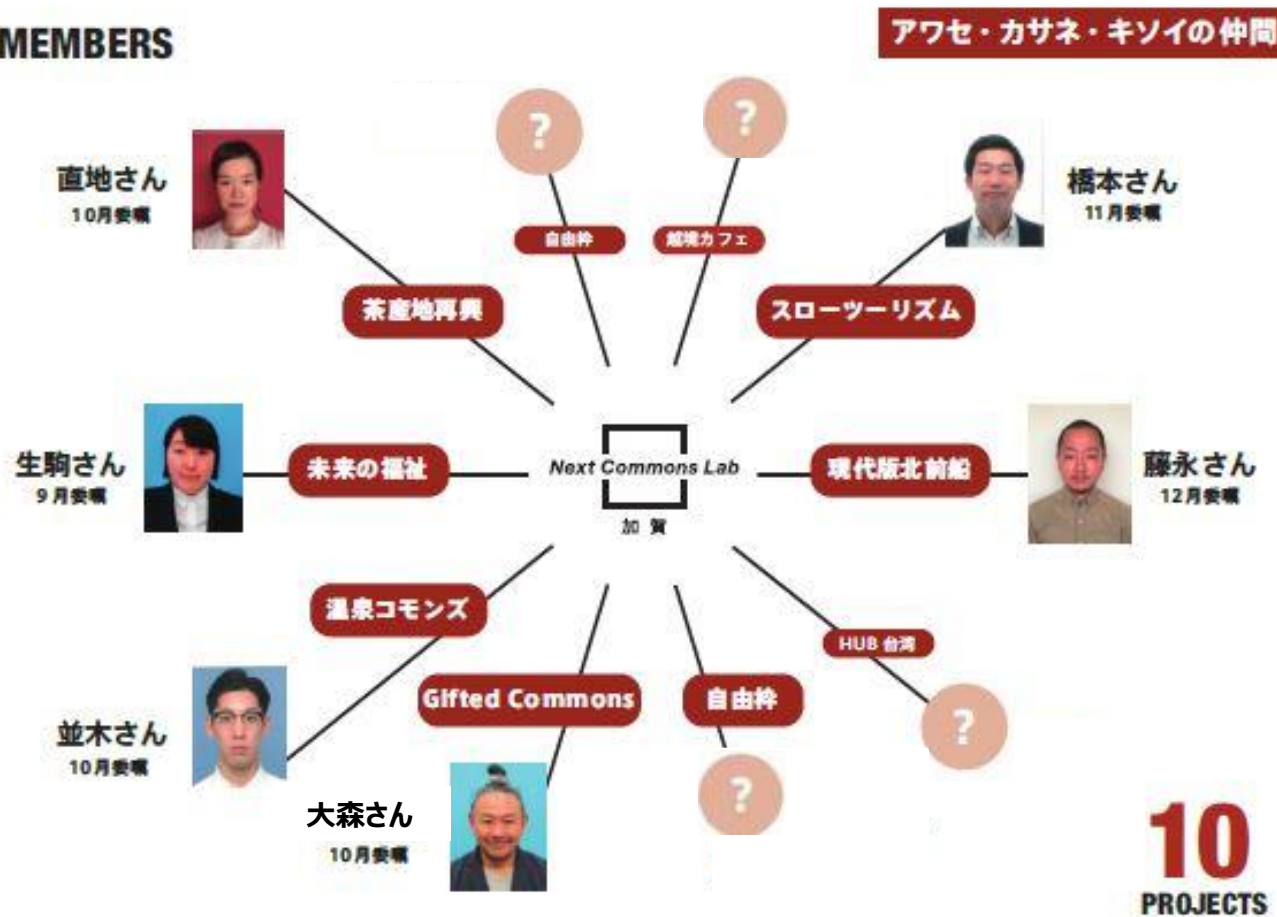
田中 美紗斗	3月10日委嘱	(25歳 東京都出身)
篠崎 健治	3月10日委嘱	(30歳 神奈川県出身)
中川 将志	8月1日委嘱	(38歳 金沢市出身)

○ラボメンバー(6人):NCLKで設定したプロジェクトを事業化

生駒朋子	9月14日委嘱	(30歳 岐阜県出身)
直地晴美	10月1日委嘱	(47歳 金沢市出身)
並木洋輔	10月1日委嘱	(28歳 東京都出身)
大森達生	10月1日委嘱	(53歳 静岡県出身)
橋本浩司	11月1日委嘱	(30歳 珠洲市出身)
藤永晋悟	12月1日委嘱	(39歳 東京都出身)

5 ローカルベンチャー育成 プロジェクト（20～40代）

MEMBERS



5 ローカルベンチャー育成 プロジェクト（20～40代）

地域おこし協力隊 本格始動

山中拠点に「加賀で起業」

北前船、茶など10ビジネス

加賀市に移住し、新ビジネスの創出を目指す9人の地域おこし協力隊員が、山中温泉東町にある古民家に事務所を構えた。市民と連携して北前船の寄港地との交流、茶の産地である打越町の再興など10プロジェクトの実現に向けた試みが本格的に動き出す。市は3年以内の事業化を目標に掲げており、隊員らは「第2のふるさと」でプロジェクトを軌道に乗せたいと意気込んでいる。

販路開拓を進めている。ローカルベンチャー育成事業は、若手県産野市のまちづくり会社「ネクスト・ commons・ラボ」と提携している。

て進められている。同社は全国各地の人材や文化、特産品を生かしたまちづくりに実績があり、隊員らに助言を行っている。

プロジェクトに属する9人の出身地は東京や静岡、岐阜などさまざま。若者の起業を後押しする市の「ローカルベンチャー育成事業」に基づき募集に応じた。2人が3月、7人が10月に地域おこし協力隊員に委嘱された。

6人が新ビジネス創出に取り組み、残り3人は経営ノウハウを助言する指導役（メンター）となる。市が山中温泉東町にある築84年の古民家を改修して事務所とした。

起業プロジェクトには、加賀市が観光交流都市協定を結んでいる台湾に拠点を設け、優れた人材や文化を相手につなぐ「HUB（ハブ・台湾）」をはじめ、日本遺産「北前船寄港地・船主

新ビジネスの創出に向けて意見を交わすメンバー
＝加賀市山中温泉東町

集落」を活用した「現代版北前船」などがある。県内最大の茶の産地である打越町では、打越製茶農協が「茶産地再興」のプロジェクトに協力しており、担当の隊員が新商品開発や

平成29年11月30日
北國新聞 朝刊

6 生涯活躍のまちプロジェクト (40代～)

都市部からの移住を希望する元気な中高年齢者や子育て世代などの多様な人たちの移住を促進し、地元住民と融和する新たなコミュニティづくり（多世代共生型）を推進。

(1) 認知症国際アジア会議in加賀の開催



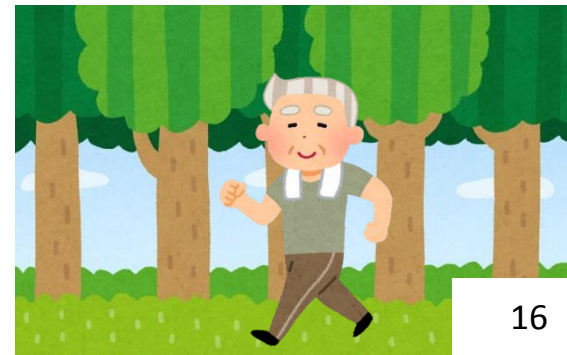
健康長寿に向け、加齢に伴う疾患として大きな課題となっている認知症の予防とケアをテーマとした会議を開催。

時 間	平成30年2月17日(土)～2月18日(日)
会 場	山中温泉山中座、河鹿荘ロイヤルホテル
有識者	国内有識者8名、海外有識者6名(韓国、タイ、フィリピン、イギリス)
内 容	2月17日(土) 開会セレモニー、有識者による円卓会議、 レセプション 2月18日(日) 国内介護事業者による事例発表、現場視察

6 生涯活躍のまちプロジェクト (40代～)

(2) 健康増進プログラム開発

- ①モニターによる水中運動の実施と成果評価
(水中運動モニターは広報かが12月号で募集中)
- ②森歩き・ウォーキングコース設定に向けた調査
- ③指導導者育成に向けた研修会の開催
- ④健康増進プログラム普及のための研究会の開催



7 プラス・カガ次世代構想ワークショップ

平成28年度から、若い世代の新しい人の流れをつくることを目的に、将来的なUIターンが期待される大学生等を対象に、市内のフィールドワークやまちづくりのキーパーソン等の交流を含む本市の豊かな未来のビジョンを描くワークショップを開催。

今年度のテーマは「THE NEW SOLO PUBLIC – ひとりから始める、新しい公共 –」

(1) 第1回ワークショップ

と き	平成29年8月22日(火)～26日(土)(4泊5日)
参加学生	14人(男子8人・女子6人)
参加者所属大学	9大学(金沢大学、金沢工業大学、九州大学(院)、 慶應義塾大学、千葉大学(院)、中央大学、東京大学、 福井大学、早稲田大学(院))

7 プラス・カガ次世代構想ワークショップ°



(2) 第2回ワークショップ（予定）

と き 平成30年2月20日(火)～24日(土)(4泊5日)

参加学生 第1回ワークショップに参加した学生

(3) 昨年度参加学生の活動

昨年度の参加学生がワークショップ終了後も地域の方々と交流を継続しながら、自ら提案したプロジェクトの実現に向けて以下の取り組みを実施。

- ①空き家解体プロジェクト、②お寺プロジェクト、③KAGA PARTY、
- ④加賀波コーヒー、⑤古民家冒険家徒歩の旅・報告会、
- ⑥匠のかくれ里プロジェクト、⑦片山津スローナイト～アキチ・デ・シネマ～
- ⑧大聖寺おかんアート展



8 若者等就労支援事業

都市部の若者の就労支援を実施する団体等と連携し、就労に課題のある若者等の定着に向けた就農体験の受け入れを実施。

観光分野を始めとする受入企業等の確保を含めた就労体験プログラムを策定し、市内及び移住予定の近隣市町の若者等を含めた就労に課題のある人の自立を支援。

(1) くらし就労サポート室設置

- ① 無料職業紹介所（まるごとワーク加賀）の開設（平成29年8月）
- ② 就労相談件数 55件（平成29年8月～10月）
※生活困窮者自立支援事業における相談者数

(2) 無料職業紹介所への登録企業の開拓

- ① まるごとワーク加賀登録予定企業数 39社
- ② 企業見学 10 件



8 若者等就労支援事業



(3) 就労支援カレッジ受け入れ事業（農業分野：奥谷梨園）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
男性	0	3	1	0	3	2
女性	2	0	1	0	3	2
合計	2	3	2	0	6	4

※10月以降についても受入を予定

(4) 就労支援カレッジ受け入れ事業（観光分野：旅館）

シングルマザーなど都市部在住の就労に課題のある人を対象とした就労体験プログラムを作成

回数	日時	内 容
第1回	H29.7.31	全体企画の説明
第2回	H29.9.26	旅館組合長（3温泉）へのプログラム作成協力説明
回数	期 間	プログラム開発 旅館
第1回	H29.10.17 ～10.19	山中温泉 白鷺の湯 たわらや
第2回	H29.10.25 ～10.27	山代温泉 ゆのくに天祥

9 温泉旅館雇用促進プロジェクト「KAGAルート」

加賀市、加賀温泉郷DMO、民間の採用支援専門事業者（株アドヴァンテージ）が官民連携体制のもと地域が一体となり、宿泊産業における働き方改革・就労環境改善に取り組み、新規就労者創出を目指します。平成29年8月7日の「加賀温泉郷経営塾」の開講を皮切りにプロジェクトがスタートいたしております。

①加賀温泉郷専用採用サイト「KAGAルート」構築
求人媒体に頼らない、温泉宿泊施設が直接求職者と繋がり、採用できる仕組みを構築するため、加賀温泉郷専用の求人サイトを立ち上げます。（10月開設）



②採用イベント「都会脱出作戦」の開催
新卒者や転職者を対象に、加賀や職場の魅力をPRしながら新たな人材確保の機会を創出する新しい手法による就職イベントを開催します。（11月頃）

①都会脱出作戦 ②プチ移住・プチ就労 ③正式に決定(転職)



※「旅館で学ぶ就労支援力」事業との連携
（体験就労先の旅館確保、体験希望の求職者確保）

③採用強化に向けた勉強会・研修会の開催
採用強化に向けた勉強会・研修会を定期的開催し、労働市場・採用手法、求職者マインドの理解、成功事例などを学び、就労環境の改善と就労イメージ向上に向けた検討を行います。（6～8回程度）



④これからの加賀温泉郷、経営合理化を図る検討会の実施
経営合理化による働き方改革について検討します。その中で、地域共有のオリジナルクラウドシステムの導入などについて検討を進めます。（3回程度）



仕様や設計に関しては次年度以降
（設計H30、システム開発H30～31、本格運用H31～）

平成29年度 事業スケジュール 1

4月1日～	移住コンサルジ活動、暮らし体験の家稼働、 移住希望者サポート活動、情報発信、仕事体験募集
4月29日(土)・30日(日)	移住体験ツアー（1人参加）
5月17日(水)・21日(日)・23日(火)	Next Commons Lab 加賀の起業家募集
5月27日(土)・28日(日)	移住体験ツアー（未実施、応募なし）
6月8日（木）	平成29年度 第1回加賀市定住促進協議会
6月24日(土)・25日(日)	移住体験ツアー（未実施、応募なし）
7月22日(土)・23日(日)	移住体験ツアー（未実施、応募なし）
7月29日(土)	おいでや！いなか暮らしフェア（大阪）出展
8月22日(火)～26日(土)	プラス・カガ次世代構想ワークショップ（第1回）
8月26日(土)・27日(日)	移住体験ツアー（5人参加）
9月10日(日)	ふるさと回帰フェア（東京）出展
9月30日(土)・10月1日(日)	移住体験ツアー（1人参加）

平成29年度 事業スケジュール 2

10月28日(土)	Next Commons Lab 加賀地域おこし協力隊委嘱状交付式
10月28日(土)・29日(日)	移住体験ツアー（未実施、応募なし）
11月25日(土)・26日(日)	移住体験ツアー（未実施、応募なし）
12月5日（火）	平成29年度 第2回加賀市定住促進協議会
12月16日(土)・17日(日)	移住体験ツアー
1月21日（日）	JOIN移住・交流&地域おこしフェア（東京）出展
1月27日(土)・28日(日)	移住体験ツアー
2月17日(土)・18日(日)	認知症国際アジア会議in加賀開催
2月20日(火)～24日(土)	プラス・カガ次世代構想ワークショップ（第2回）
2月24日(土)・25日(日)	移住体験ツアー
2月末頃	移住ハンドブック更新
2月開催予定	移住セミナー（ふるさと回帰支援センター）
3月24日(土)・25日(日)	移住体験ツアー
通 年	空き家バンクの活性化、 移住者ネットワークの構築（加賀においてサポーター）

**ご清聴いただき
ありがとうございました**